



SKY Perfect JSAT
Holdings Inc.

株主通信

2017年3月期 第3四半期
2016年4月1日～2016年12月31日

WEB版



拡がる未来、
新しい時代へ発進



成長基盤の構築に向けた「チャレンジの年」として、
2017年もスピード感をもって事業を
推進していきます。

2017年2月
代表取締役社長

高田 真治

2017年3月期第3四半期

営業収益

1,181
億円

前期比
4.3%減

DOWN

営業利益

155
億円

前期比
16.3%減

DOWN

親会社株主に帰属する
四半期純利益

102
億円

前期比
15.3%減

DOWN

2017年3月期 第3四半期の業績

当社事業基盤を支える4衛星の打ち上げも成功し、
当第3四半期はほぼ想定通りに進捗しています。

当第3四半期の有料多チャンネル事業は、「スカパー！」業務手数料収入が増加したものの、「スカパー！プレミアムサービス」の累計加入件数の減少により視聴料収入が減少しました。宇宙・衛星事業では、前年同四半期に計上した災害対策用ネットワーク管制局設備販売収益が剥落したことに加え、インドネシアやロシアなど一部海外顧客からの収入が減少しました。

以上により、営業収益は前年同四半期比4.3%減の1,181,124百万円、営業利益は同16.3%減の15,530百万円、四半期純利益は同15.3%減の10,283百万円となりました。前年同期比では減収減益ですが、ほぼ計画通りに進捗しています。

2017年3月期 第4四半期の取り組み

新サッカーセットを販売開始、宇宙・衛星では
アジア太平洋地域のサービスを拡大します。

有料多チャンネル事業においては、2017年シーズン以降もJリーグを放送できるよう交渉を続けてまいりましたが、残念ながら成立に至りませんでした。これに伴いJリーグ関連セットのみのご契約者の一時的な解約増がありましたが、今年2月1日からUEFAチャンピオンズリーグやW杯欧州予選、天皇杯、ルヴァン

カップなどを盛り込んだ「新サッカーセット」を販売開始しました。さらに24時間サッカー専門チャンネル「スカサカ！」を、生中継やオリジナル番組を編成するなど強化して2月4日に新生開局するなど、引き続きサッカーはスカパー！の代表コンテンツの一つとして展開してまいります。また業界初となる4K HDR中継車でのスポーツや音楽ライブの中継等を行い、好調な4Kテレビ販売を追い風に4Kコンテンツの充実による差別化を図ります。

宇宙・衛星事業では、当期において4機の衛星打ち上げに成功しました。昨年5月に打ち上げたJCSAT-2Bはアジア太平洋・極東ロシア地域の新規受注や利用帯域の拡大に取り組んでいます。軌道上予備機として8月に打ち上げたJCSAT-16は、後継衛星の打ち上げが遅延しているSuperbird-B2からの顧客移行が完了し、早速バックアップ機能を果たしています。また12月に打ち上げたJCSAT-15(軌道上名称: NSAT-110A)は、東経110度CS左旋を利用したA-PAB(一般社団法人放送サービス高度化推進協会)による4K試験放送(本年4月開始)に使用されます。さらに、南インド洋を広くカバーするSIOR(South Indian Ocean Region)ビームで、増大する移動体通信需要に応えます。また、今年1月に打ち上げ、防衛省へ引き渡したPFI事業衛星2号機は、各種試験実施後に運用を開始する予定です。輸送中の損傷事故により打ち上げが遅延している防衛省PFI事業衛星1号機とSuperbird-8については、現在損傷個所の修復を進めており、2018年3月から9月に打ち上げ予定となっています。

中長期的な取り組みについて

有料多チャンネル事業では、
4K実用放送開始へ向けた準備を進め、
宇宙・衛星事業では、新しい技術を導入し、
事業領域を拡大していきます。

本年1月に総務省より東経110度CS左旋帯域の4K放送が8チャンネル認定され、2018年末の4K実用放送開始に向けて準備を進めています。スカパー東京メディアセンターに新たな設備投資を行い、110度CS左旋放送に向けたプラットフォームを構築するほか、すべての衛星放送(124/128度CS、BS/CSの各右旋・左旋)を受信できるマルチアンテナを4月より販売開始し、受信環境の整備を促進します。

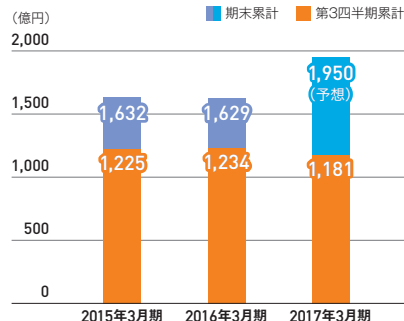
宇宙・衛星事業では、当期に打ち上げた衛星の減価償却費が来期以降増加することに加え、第4四半期に予定されている防衛省PFI事業衛星の売却益がなくなることから、来期は厳しい年になることが予想されますが、中期経営計画の達成とさらにその先を見据えた投資として、新型衛星Horizons 3eやJCSAT-18の調達を進めています。また、有望マーケットと期待される低軌道非静止衛星ビジネスでは、昨年12月にノルウェー・KSAT社との戦略的業務提携を締結しており、また子会社であるエンルート社を通じてはドローンビジネスを展開するなど、新規事業領域への進出、拡大を進めています。

株主の皆様におかれましては、引き続き当社の成長に向けてご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

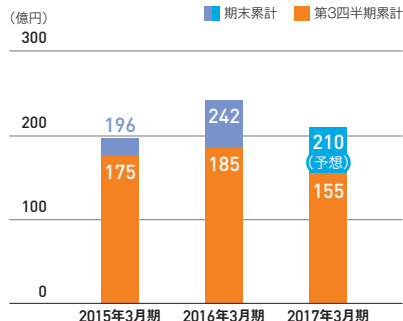
2017年2月28日
代表取締役社長 高田真治

連結財務情報

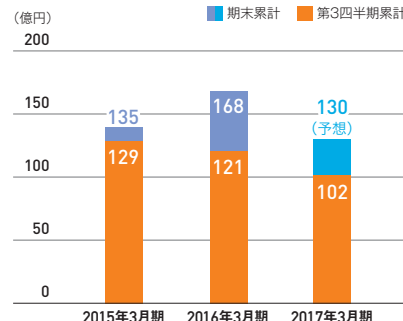
営業収益



営業利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



業績概況

当第3四半期の連結業績

前期比増収減益となる通期見通しに対し、ほぼ計画通り堅調に進捗しています。営業収益は前年同四半期比5,342百万円減の118,124百万円、営業利益は前年同四半期比3,030百万円減の15,530百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比1,851百万円減の10,283百万円となりました。

有料多チャンネル事業

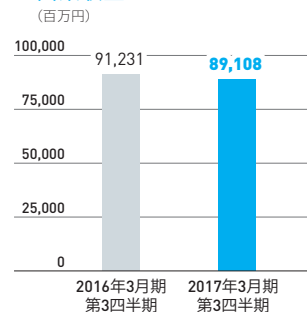
「スカパー！」業務手数料収入が増加した一方で、「スカパー！プレミアムサービス」累計加入件数減少に伴う視聴料収入減少等により、営業収益は前年同四半期比2,122百万円減の89,108百万円となりました。利益面では、「BSスカパー！」や4K放送のためのコンテンツ費用が増加した一方、番組供給料および広告宣伝費等が減少し、営業利益は前年同四半期比1,147百万円減の4,019百万円となりました。

宇宙・衛星事業

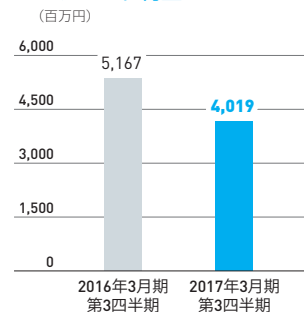
EsBird等のVSAT(小型地球局による衛星通信)サービス収入が増加した一方で、一部海外顧客に対する収入減少や前年同四半期に計上した災害対策用ネットワーク管制局設備販売の収益が剥落したこと等から、営業収益は前年同四半期比3,486百万円減の37,925百万円、営業利益は前年同四半期比1,861百万円減の12,011百万円となりました。

有料多チャンネル事業

営業収益

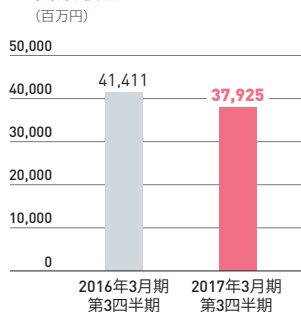


セグメント利益

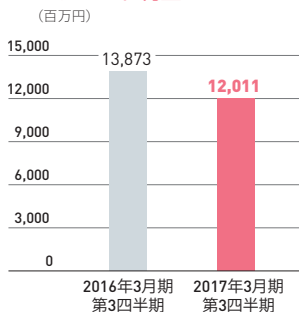


宇宙・衛星事業

営業収益



セグメント利益



KEY DATA

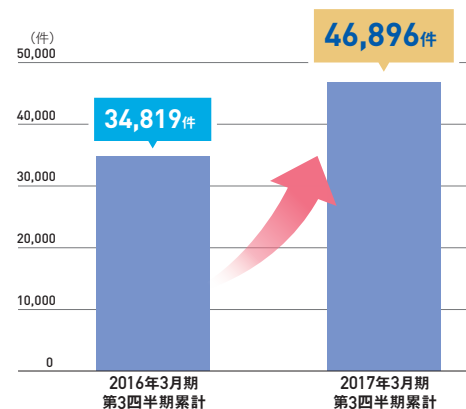
スカーパー！プレミアム
サービス新規加入件数

46,896件

(2017年3月期第3四半期累計)

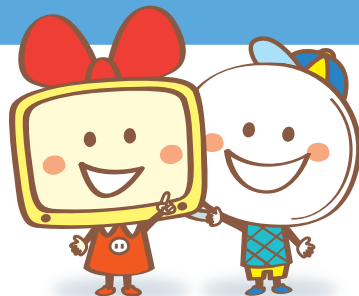
スカパー！プレミアムサービスの新規加入件数は、前年同四半期の34,819件から12,077件増加し46,896件となりました。これは、家電量販店店頭での販売促進をプレミアムサービスに絞り込んだこと、4Kテレビや4Kチューナーの販売普及を背景に、4K専門チャンネルを3局に増やし、視聴者ニーズを取り込んだことによるものです。今後も、4Kテレビの普及に合わせ、プレミアムサービスの新規加入件数増を目指します。

プレミアムサービス 新規加入件数実績



第3四半期ニュースフラッシュ

2016年10月～12月



10月 | October

- 11日** 話題の男子プロバスケットボールリーグ【B.LEAGUE】「B1リーグ 公式戦」を10月13日より放送開始、第4節以降の340試合を生中継
- 19日** (株)空間知能化研究所と海洋向けサービスで連携し、「水中ドローン」による遠隔海洋調査・監視サービスの実証に成功
2017年度に海洋産業事業者向けサービスを開始予定
- 20日** 『スカパー！10日間無料放送CM「堺議員シリーズ」』に夏目三久さんが議員秘書役で登場する最新TVCMがオンエア

11月 | November

- 1日** 当社グループの(株)エンルート 農林水産省の「露地野菜生産ロボット化コンソーシアム」に農業散布用ドローンで参加
- 22日** エキサイト(株)と業務提携の検討開始
- 29日** WAKUWAKU JAPANと(株)JTBがテレビ番組と旅行商品を共同開発
日本のプレミアムな旅を紹介するカルチャー番組「日本"通"人」を実際に体験できる旅として販売

12月 | December

- 7日** 低軌道向け地上局サービスでKongsberg Satellite Service社と戦略的業務提携を締結し、低軌道衛星関連事業の加速化と海洋情報サービス事業へ参入
- 15日** BSスカパー！で大好評を博したオリジナル連続ドラマ「弱虫ペダル」続編制作決定！ 2017年放送開始
- 22日** あの人気番組がリニューアルで再登場 BSスカパー！オリジナルバラエティ「BAZOOKA!!!」2017年1月9日からレギュラー放送開始

企業と顧客の良好な関係を構築した実績を評価、「2016 CRMベストプラクティス賞」を受賞しました。

子会社である(株)スカパー・カスタマーリレーションズ(以下SPCC)が、このたび一般社団法人CRM協議会が主催する「2016 CRMベストプラクティス賞」を受賞しました。同賞は「顧客満足度とロイヤルティの向上を通して売上拡大と収益性の安定を図る顧客中心主義経営(CRM)」に成果を上げている企業・団体が選定され、CRM推進のモデルケース創りや人材育成として活用されていくものです。

SPCCはスカパー！カスタマーセンター運営において「お客様の快適なスカパー！ライフをサポートする」をミッションとした改革を推進し、2012年から全センター統一の基準を設けて「効率」と「品質」の改善に取り組んできました。その結果、お客様満足度は2012年の61%から2015年には90%まで向上、また運営コストは同じく4年間で45%削減を実現しました。

SPCCは、今回の受賞を励みに、引き続きコールリターン分析やビッグデータの有効活用に向けて取り組んでいきます。今後もスカパーJSATとSPCCはスカパー！をお楽しみいただくお客様の声を真摯に受け止め、よりご利用いただきやすいようお客様をサポートいたします。



受賞スピーチをする
SPCC出水啓一朗代表取締役社長

衛星放送の価値向上を目指す 4K HDR放送の取り組み

2015年3月、4K 2チャンネルを放送開始。
2016年10月、「スカパー！4K体験」チャンネルで
4K HDR放送開始。



(株)スカパーJSATホールディングス
取締役 (有料多チャンネル事業担当)
小牧 次郎

4K HDR制作がスタンダードになりつつありますか？

昨年カンヌで行われた世界最大級の映像通信コンテンツの国際見本市「MIPCOM」でも、従来のHDでもSDR*でもなく4K HDR*での制作がスタンダードになろうとしているのを実感しました。

世界の映像コンテンツ製作者たちは、ビジネスとして映画館のスクリーンからスマホの小さな画面まで、どのデバイスでも対応できる画質でなければならないと考えています。スマホが主流であっても、スマホの小画面だけを対象としてはビジネスが成り立ちませんから、まず高画質で撮影し、デバイスに合わせて画質を落としていくのです。たとえば最高画質が求められるテレビコマーシャル映像などは4K HDRで撮影し、HD SDRで編集、配信します。4K HDR化は、制作サイドにとってビジネス的に必然であり、さらに言えば、クリエイタたちは必ず美しい映像を選ぶものです。

*SDR(Standard Dynamic Range)従来の標準的な輝度。

*4K HDR(High Dynamic Range)輝度の高低幅を拡大し、より明るい高画質を得られる4K。

国内における4K放送の今後の見通しについて教えてください。

4Kテレビの出荷台数は年々増加し、2017年には4Kテレビの出荷割合は40%になるとの予測もあります(JEITA「AV&IT世界需要動向」)。

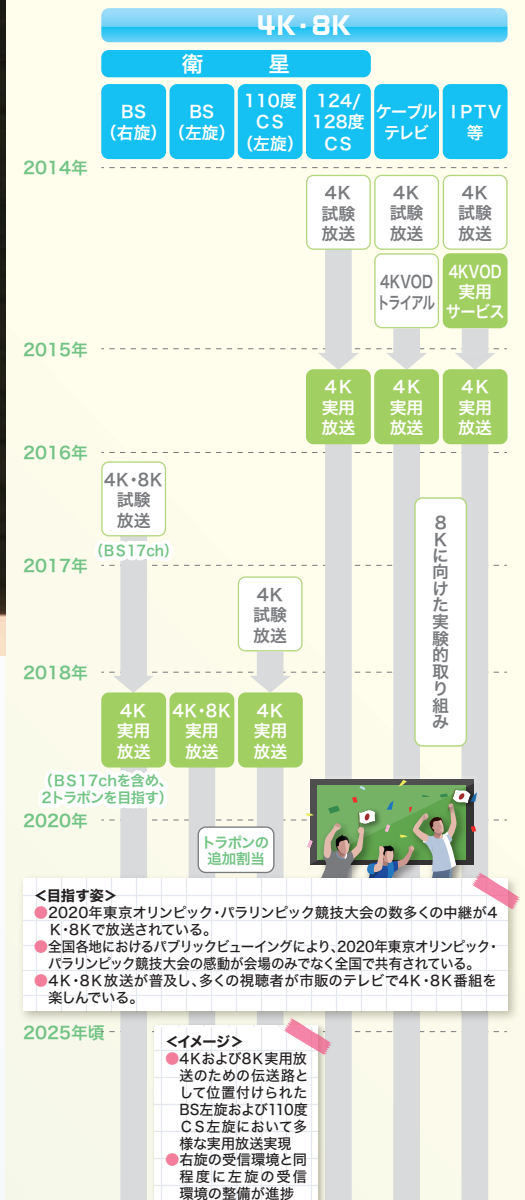
4Kの配信はどうかと言うと、IPTVでは4Kコンテンツのリニア放送が始まっていますし、有料のオンデマンドサービスでも4Kコンテンツの配信を始めています。

スカパーは衛星を使って世界で最も早く4K商用放送を開始しました。2015年3月には4K 2チャンネルを放送開始し、2016年10月には、「スカパー！4K体験」チャンネルで4K HDR放送を開始しています。

総務省により4K・8K推進のための「ロードマップ」(右図参照)が整備され、当社グループも110度CS(左旋)において4K 8チャンネルを申請し、このたび総務省に認定されました。

今後も衛星放送の価値向上に向けての取り組みを一層加速していきます。

4K/8K推進のためのロードマップ



※総務省「4K・8Kロードマップに関するフォローアップ会合第二次中間報告 参考資料」より引用

今年の春は
ワクワク
するね



WAKUWAKU JAPANの放送エリアが8つの国と地域に拡大。 スポーツシーズンが開幕し、 4K HDR中継もスタート。テレビはもっと面白くなる。

● ベトナムに続きモンゴルでも新規開局、新たなインバウンド効果も。

海外向け日本コンテンツ専門チャンネルWAKUWAKU JAPANは2016年12月にベトナムで、2017年2月にはモンゴルで放送を開始しました。これによりWAKUWAKU JAPANの放送はインドネシア、ミャンマー、シンガポール、タイ、台湾、スリランカ、ベトナム、モンゴルの8つの国と地域で視聴可能になります。視聴可能世帯は965万世帯となり、2016年度目標である1,000万世帯の大台が視野に入ってきました。

人口9,000万人を超えるベトナムにおいては、大手ケーブルテレビ局の2つのチャンネルで毎日計3時間のタイムブロック放送を行いながら、24時間チャンネルとしての放送を予定し放送免許取得手続きを進めています。

世論調査において「最も親しくすべき国」として日本が1位にあげられる親日国であるモンゴルでは、有料多チャンネルIPサービス「Univision」および有料多チャンネル衛星放送「DDish TV」で24時間放送を開始いたしました。

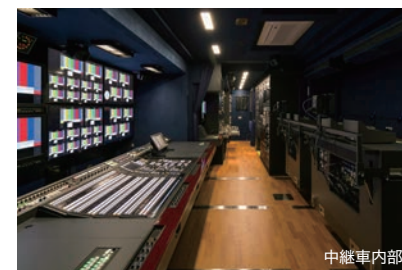
また、総務省放送コンテンツ海外展開総合支援事業の一環として2016年11月からオリジナル番組「Catch Your Dream-Study in JAPAN-」を放送しました。外国人留学生や訪日客の誘致を目的に、現役留学生の目線を通して日本の大学およびその周辺地域の魅力を世界各国へ発信しています。放送エリアの8つの国と地域での日本ブーム拡大や、インバウンド効果を推進します。



● 人気のスポーツを4K HDRで中継、さらに迫力と臨場感にあふれたLIVE映像を提供。



4K HDR対応中継車



中継車内部

スカパー！では視聴者の皆さまに4Kコンテンツをよりお楽しみいただくため、2016年10月から世界初の4K HDRによる放送を「スカパー！4K 体験」で開始しています。4K HDR放送は輝度、明暗の表現に優れた映像表現が可能になります。

3月からは「スカパー！4K 総合」でもHDR放送を開始します。4K HDRは屋外スポーツ中継や、音楽ライブのレーザー光を使った演出などの撮影に特に適しています。春のスポーツシーズン開幕の前に4K HDR対応中継車を導入し、迫力ある4K HDR映像の生中継が可能になりました。

今後、サッカーや野球などさまざまなスポーツを、臨場感あふれる4K HDR映像にて制作いたします。プレミアムサービスご契約なら無料で視聴いただける4K放送を、ぜひお楽しみください。

日本初の防衛省Xバンド 通信衛星「きらめき2号」 打ち上げ成功で事業領域拡大に弾み。

2017年1月24日、防衛省のXバンド通信衛星「きらめき2号」がJAXAの種子島宇宙センターより三菱重工のH2Aロケットで打ち上げられ、予定軌道への投入を確認しました。防衛省として初めて保有・運用するXバンド通信衛星となります。

2017年1月24日、防衛省のXバンド通信衛星「きらめき2号」がJAXAの種子島宇宙センターより三菱重工のH2Aロケットで打ち上げられ、予定軌道への投入を確認しました。防衛省として初めて保有・運用するXバンド通信衛星となります。

当社は、子会社である株式会社ディー・エス・エヌ(DSN)が防衛省から受注している「Xバンド衛星通信中継機能等の整備・運営事業」において衛星調達業務を請け負っております。昨年7月に打ち上げを予定していた1号機に関しては、輸送中に発生した事故により打ち上げを延期し、今回2号機の打ち上げが先行し無事成功しました。1号機は2018年3月以降の打ち上げを予定しております。

なお、同衛星は気象条件などに左右されにくい周波数帯域であるXバンドを利用し、高速・大容量通信が可能です。有事や災害等の発生時においても画像や動画をスムーズに送信でき、陸海空の部隊間でも迅速に情報共有できると期待されています。

当社グループは、政府の「宇宙基本計画」に対応し宇宙・衛星事業の領域拡大を目指し、今後も戦略的な取り組みを進めてまいります。

事業が
どんどん
広がるね



JCSAT-15 打ち上げにより、 2016年度は3衛星すべて 打ち上げ成功

当社は、2016年5月にJCSAT-14、8月にJCSAT-16、そして12月にはJCSAT-15をそれぞれ打ち上げました。これにより今年度に予定していたJCSAT衛星の打ち上げにすべて成功し、安定した衛星通信サービスの継続が可能となり、アジア太平洋地域を中心とした衛星通信需要の確保に貢献してまいります。

JCSAT-15は当社N-SAT-110後継機として「スカパー！」を放送している東経110度の軌道位置で運用されます。

2018年から実用放送開始が予定されている4K放送においても利用され、有料多チャンネル事業の成長を支えます。



打ち上げ台のJCSAT-16



©三菱重工/JAXA

各ジャンルのおすすめ!!

下の各ジャンルのアイコンをクリック  すると番組紹介ページをご覧ください。



映画

Movie



スポーツ

Sports



音楽

Music



アニメ

Animation



ドラマ

Drama



エンター
テインメント

Entertainment



ドキュメンタリー
・ニュース

Documentary/
News



趣味・娯楽・外国語

Hobby/Culture/
Foreign language

2月4日
新生開局!!

スカパー!サッカーセットで見られる!



24時間サッカー専門チャンネルの「スカサカ!」は、日本で放送・配信されるすべてのサッカーの「ホーム」となるチャンネルとして、2017年2月4日に新生開局しました。

国内はもとより海外での試合中継・ハイライト番組はもちろん、スカパー!解説陣による討論番組や「Jリーグラボ」、「Jのミライ」など、こだわりをもったオリジナル番組を多数放送予定です!

スカパー!
サッカーセット



NEW

2,980 円/月(税込)



2017.2.1
Start!

2017年2月1日から新たな「スカパー!サッカーセット」販売開始!

2017JリーグYBCルヴァンカップや天皇杯、ユース・育成年代などの国内サッカーに加え、UEFAチャンピオンズリーグ・ヨーロッパリーグ・セリエA、W杯欧州予選が見られる新しいサッカーセットが登場しました。これからも、国内外のサッカーをさらに数多く放送できるようチャレンジし続けます! ぜひご覧ください。
※詳しくはスカパー!サッカー公式サイト <https://soccer.skyperfectv.co.jp/> をご確認ください。

スカパー! ondemand

ご契約者様はオンデマンドサービス「スカパー!サッカーオンデマンド」が無料でご利用いただけます。(権利の都合上、オンデマンド配信のない番組・中継があります)

パソコン・スマホから24時間受付!

ご契約のご確認・お手続きは「Myスカパー!」から

新規ご加入のチャンス!

今なら! 加入料
3,024 円が 0 円

2016/10/1 - 2017/3/31



SKY Perfect JSAT Holdings Inc.

www.skyperfectjsat.co.jp

